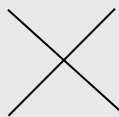




アーティスト・書道家

Haruka Imako



立命館大学文学部 人間研究学域 教授

Takashi Kakuni



当対話会はアーティスト・書道家の今子青佳氏と
本学文学部教授の加國尚志先生をお招きし、
参加学生と一緒に「わからなさ」との対峙につい
て対話形式で考察を行います。

わからなさ
と
戯れてみる

対話会 みんなで考えてみよう

私たちは日常生活を送る中で
しばしば、理解が難しいものと出会います。
誰かの言葉や思想、文字化けた記号やバグ、
時には難解そうに見える芸術作品などの場合も
あるかもしれません。

日時 2025年11月7日（金）16時45分～18時15分
会場 平井嘉一郎記念図書館 1F 2nd
ゲスト 今子 青佳（アーティスト・書道家）
加國 尚志（立命館大学文学部 教授）
対象 立命館大学 学部生・院生（先着30名）
申込 右記QRコード（企画の参加申込みより）
企画 立命館大学図書館
ライブラリー編集部



登壇ゲスト紹介

加國 尚志（かくに たかし）

立命館大学文学部 人間研究学域 教授

〈研究テーマ〉

メルロ＝ポンティの存在論、間文化現象学

〈著書〉

『沈黙の詩法 メルロ＝ポンティと表現の哲学』

『自然の現象学：メルロ＝ポンティと自然の哲学』

〈共訳〉

『触覚、ジャン＝リュック・ナンシーに触れる』他

〈編集〉

『視覚と間文化性』他

今子 青佳（いまこ はるか）

京都芸術大学大学院修士課程修了、財団法人
日本習字教育財団最高位8段取得。肉筆という
文字の身体性をコンセプトに、インスタレー
ションや映像など、幅広い表現方法で制作す
る。京都在住。アスタルテ書房「今子青佳書
道展 澁澤龍彦『高丘親王航海記』」、誠光
社「男もすなる日記」など個展を開催。その
ほか、三人之会公演「胎内」（三好十郎）、
「逃亡」（高行健）などの舞台美術の担当や
雑誌『SPUR』（集英社）での掲載多数。

展示&対話会と一緒につくる学生運営メンバー募集！

主な内容は以下をご参照ください

- ・ギャラリー設営、選書展示コーナー作成など
- ・対談イベントの進行補助、撮影、受付など

*詳しくは上記QRコード

（協力学生募集より）締切：10月14日（火）まで